

キヨさんの今月のご案内

大がかりな電気や機械装置を使わず、日射遮蔽の手法で省エネ！

酷暑+節電 パッシブ・リフォーム

《緑のカーテン》って言うけれど…生い茂るまで待てますか？ 枯れた後始末も大変！

《夏モード》日射遮蔽をしつらえにするパッシブ・リフォーム

【夏モード】パッシブ・リフォームのコツは…

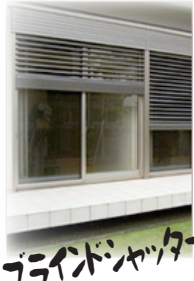
《夏の建物は極力温めない》 日射遮蔽する

《建物周辺のふく射熱を防ぐ》 南面の蓄熱体に日陰を作る



日射遮蔽

オーニング
+
遮熱ガラス



ライボジャッター



縦回転ルーバー



ルーバー雨戸

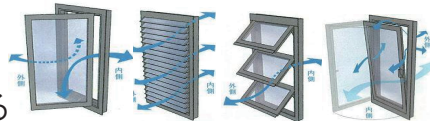
施工例：すべて下野市

《パッシブデザイン》：躯体の性能を高めたうえで自然エネルギーを最大限活用することで省エネ・快適・健康を実現、足りない部分を設備で補うという考え方

《夏モード》通風をしつらえにするパッシブ・リフォーム

【暑かった2010年】

毎年清水寺が発表する2010年の漢字は《暑》
2011年の夏も暑くなると予想され、計画停電が実施される
2030年までに熱帯夜は現在の3倍になるという試算もある



《暑》

立体的に風を通すと
通風量は2倍 →

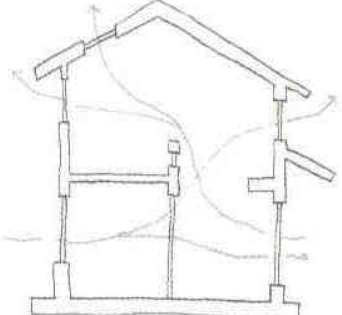
《階段：排熱・通風窓》

温度が上昇して排熱
開閉する天窗を取付



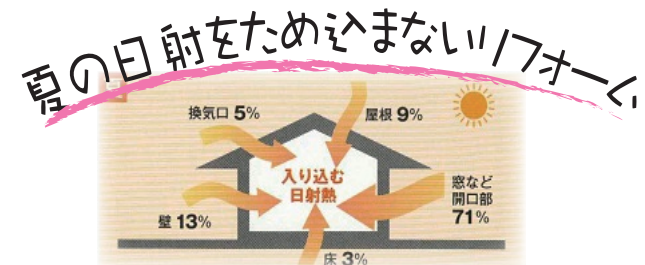
《リビング：出窓》

解放して通風するサッシに交換



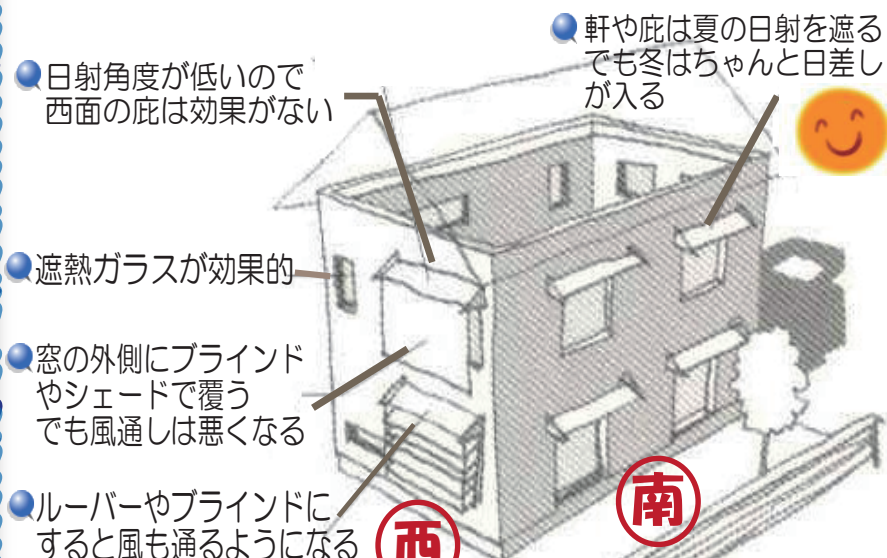
いい風が吹く日は【大きな窓】を開け通風で涼を得ましょう

技術や機械で自然に抵抗せず【パッシブ】に共生すると、家のシステムもシンプルになります



遮熱 × 快適 × 省エネリフォーム 足りてますか？

暑い暑い夏の日射+風を知り、パッシブに活かそう



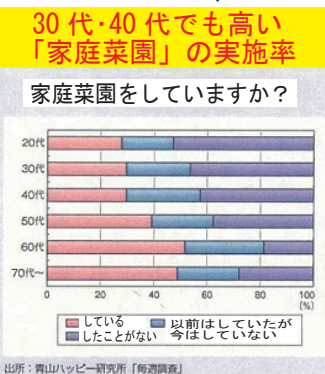
☆世の中に溢れかえる「環境配慮」「エコ」「温暖化対策」「CO2削減」というキャッチフレーズ。中身を見るとほとんどが「設備」に頼り電気で動くアクティブ装置で太陽光発電や燃料電池などが典型でそれさえ付ければエコというイメージを与えています。しかし、機械装置による省エネ快適性を家づくりの順番の最初に持ってくるのは如何なものでしょうか？ 私たちが本来の心地よさ感じるのは自然にある光や風、暖かさに包まれた時で、まずはそうした空間を実現してから設備器具に目を向けるのが正しく賢い順番です。自然をなるべくそのままのかたちで心地よさの獲得に活かすのがパッシブデザインの真髄です。

☆パッシブデザインは現在の長所短所がわかっているリフォームこそ最適です。陽の当たり方や風向きも判っているからです。パッシブデザインを具体的に活かすリフォームはアップルまでご相談下さい。

草むしりから開放 × 日常を楽しむ庭にリフォームする

三菜園付き庭が人気！

アップルは外構設計のプロ 固まる土！草むしり開放！



施工例：すべて下野市（マンション1階・戸建の主庭）

1級エクステリアプランナー
+
建築設計のプロ
建築士
+
インテリアコーディネーター
のノウハウで提案



自然素材
コンクリートを使わない固まる土
《タタキ土間》 Natural

☆外構・エクステリアのご相談は、1級エクステリア・プランナーのいるアップルで☆



自治医大で唯一の住宅リモデリング専門会社
<http://www.reform-apple.com>

リフォームアップル自治医大店

ホームページで施工例がご覧になれます
（株）アップル リフォームアップル

0120-393-897 TEL 0285-44-8208

下野市祇園 1-20-1

QRコード
携帯からアクセス

